

※ 今週のアウトルック(6/9~6/13)

先週は、金曜日の米国雇用統計発表を控えて小幅な値動きが続きました。発表された非農業部門雇用者数の結果が予想を上回ったため、ドル円、クロス円共に上昇してそのまま週末を迎えました。

今週は米国CPIの発表などが注目されそうです。米国、欧州共に今後の利下げスケジュールについてある程度織り込まれてきている状態ではありますが、サプライズ的な出来事には大きく反応しそうです。

先週ドル円は月曜日に142円台まで下落しましたが、その後144円付近までのレンジ的な動きとなり、金曜日の米国雇用統計の非農業部門雇用者数が予想を上回ったことを受けて、145円付近まで上昇してそのまま週末を迎えました。

今週は、米国CPIの発表なども気になるところですが、年内2回程度の利下げが予想される中、トランプ大統領の利下げ圧力などもあり、150円へ向けて上昇、とはなりにくいように思います。

ドル円の予想レンジは142円から147円です。

ユーロドルは1.15付近のレジスタンスを前に、膠着状態が続いています。米ドルの利下げが実施されるまでは、ブレイクは難しいかもしれません。

ユーロ円は週末に165円台まで上昇しました。このままブレイクした状態を維持できれば、167円付近までの上昇は期待できるかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは162円から167円です。

ポンド円も週末に196円目前まで上昇しました。このままの状況を維持できれば199円付近までの上昇が期待できるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは192円から199円です。

ユーロ円、ポンド円はこのままレジスタンスブレイクが成功するか、瀬戸際の状況にあるようです。週初めの東京、欧州市場の動きに大きく左右されそうです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。